企業としての農業を求め、究めていく。

火の国 阿蘇の
恵みのブランド

多米 Azen
Aso City

日本一作物に足音を聞かせています。
名刺にはそんなメッセージが刷り込まれている。
農業生産法人・阿蘇たいちゃん農場のキャッチコピーだ。
「作物に対する思いでは誰にも負けないという心意気を……」
そのように表現した。もちろん自分自身に課す命題でもある。
こだわりの米をはじめ、大豆、麦、アスパラなどを生産。
この仕事にとっていちばん大事なものは、と問われたら迷わず、
「人です。担い手です」
田中泰次郎さんはそう答える。
スタッフには阿蘇以外の地からやってきた
非農家出身の若者が多い。企業としての農業を求め、
働きやすい環境を整備しているからだろう。
ユニークな米プラスチックの普及に尽力するなど、
つねに「努力と発想」からなる先駆的な試みをつづけています。

阿蘇たいちゃん農場　田中泰次郎

あるがまま、という貴さ。
人と自然が共作する阿蘇。